

# 退官



現場の教師と勉強会を組織し、  
今では常識になっている伝達能力重視の  
英語教育の手法を新潟の地から全国に  
広めていくこともできました。

## 充実した35年間

教育人間科学部教授  
高橋 正夫



赴任したのは旧教育学部の高田分校でした。現在は取り壊された跡形もありませんが、師範学校の面影が強く残る白亜の三階建てと戦時中は師団司令部であった明治期の建物が高田城址の森と堀に囲まれて立っていました。教官数40そこそこの少人数所帯でしたから、良きにせよ悪しきにせよそこでの人間関係は現在から想像もつかないくらい密接なものでした。若手が集まって一般人立ち入り禁止の土手に登り、夜桜見物の酒宴を開いたのも懐かしい思い出です。時は学園紛争のただ中で、団交を称して学生たちが老教授に「てめえ」と詰め寄る場面赴任早々に目撃して、びっくりしたものです。授業時間の一部を政治討論の場に割くように要求されることもしばしばでしたし、学生の襲撃を警戒して入試問題を保管した金庫の前で寝泊まりしたこともありました。当時は豪雪が続き、共通一次試験が開始されると解答用紙が信越の県境を越えるまで電話から離れなかったことを思い出します。専門領域では、現場の教師と勉強会を組織し、今では常識になっている伝達能力重視の英語教育の手法を新潟の地から全国に広めていくこともできました。想い出は美化され易いのですが、こうした熱気は独立法人化をひかえた機能と効率化の風潮の中でも消え失せて欲しくないもので

す。最後に、充実した35年間で過ごさせて頂いた本学教職員の皆さまに心から感謝する次第です。

## 幸せを多謝

教育人間科学部教授  
大橋 勝男



新潟大学に教職を得、  
次の三点から大変幸せ  
だった。

一つは、筆者の研究の立場から。新潟県方言は、日本東西方言の接境方言。扇の要。日本の方言究明のためには、当県方言の究明が、まさにツボを押さえることにつながる。居ながらにしてそれが可能となったのである。当県方言の研究は、筆者の方言諸研究の中で、一つの大事な柱となってきた。

二つは、筆者の教育活動の立場から。学生が、学部生・院生共々、実に優秀で真摯だった。おかげで、授業が楽しくやりがいがあった。その中で、特に現社研究生六名の博士学位取得者（プラス一名も取得するはず）を育てたことは、大幸である。

三つは、本学の風格の立場から。新潟大学は、世間から拠点大学として立派な、格の高い大学と受け取られている。筆者もそう思え、誇りを持つことができた。全国諸地、方言調査に訪れた先々で、「新潟大学の者」ということばで、さっそく信用され、好意的に待遇された。



学生が、学部生・院生共々、  
実に優秀で真摯だった。おかげで、  
授業が楽しくやりがいがあった。

留学生達も、本学の格をわきまえ、本学に学ぶことに誇りを持ち胸を張ると同時に、その大学の先生ということで、不肖筆者をも信頼し、畏敬の態度でついてきてくれた。

それらこそ、新潟大学の恵んでくれた幸せである。終始その幸せの道を歩み続けることのできたことに、心からの感謝を覚える。新潟大学及び関わりのあった方々にその微意を謹んで呈し、大学及び各位のいっそうの充実・発展を切に祈り申し上げます。

## 退官にあたって

教育人間科学部教授  
吉岡 智晃



1963（昭和38）年4月、当時の教育学部高田分校に赴任して以来、ちょうど40年が過ぎ去りました。1981（昭和56）年4月の統合を境に、前半を、雪深い高田（現上越市）で、後半を新潟で、という形でしたが、長期間だったはずなのに「早いもので」という思いを強く感じます。

特に分校時代には、教務委員、入試運営委員をよく仰せつかりましたが、それが尾を引いたか、入学者選抜方法研究委員会委員を、共通一次導入時から引き続きやってきたこと。まさかと思っていた、附属長岡小学校校長の職を、2期4年間勤めたこと。教育学部教官という立場上、附属校をはじめ

め小中高の教育現場とかかわることが、赴任当初から多く、結局、新潟県数学教育会会長の職まで引き受ける形になったこと。

当初、微分位相幾何学を研究分野にしていたが、行き詰まったためグラフ理論に転向し、それが特に中学校での教材開発につながったこと。ちょうど30年間、約150名になるゼミ生との、「よく学びよく遊べ」をモットーにした学び合いとつきあい。

などなど、忘れられない思い出が無数にあります。

本学でのこのような充実した40年を保障して下さった先輩同僚諸氏および学生諸君に深く感謝の意を表し、合わせて、新潟大学の益々のご発展をお祈り申し上げます。



「よく学びよく遊べ」をモットーにした学び合いとつきあい。忘れられない思い出が無数にあります。ちょうど30年間、約150名になるゼミ生との、